

平成23年

7月号

[559号]



広報

かねやま

笹巻作りのさなか、笑顔を見せる101歳の滝沢マツヨさん（上横田）

子どもたちの教育



町のスギ間伐材を利用したプランター作り（金山中学校・森林環境学習）

町では小学校・中学校とも児童・生徒数が著しく減少しています。そこで小規模校の良さを生かした少人数教育を追求すると共に、郷土に学び、地域の特徴を生かした教育の推進や情報化の時代に対応できる教育の充実が望まれています。

「金山町の教育」策定あたって

町では、時代の変化、各小・中学校や町民のニーズに応じて「平成23年度金山町の教育」を策定しています。今回は小中学校の教育について目黒教育長に話しを伺いました。

自分に自信を

私は金山町の子どもたちには自分に自信を持ち、町に誇りを持ってもらいたいと思っています。子どもたちは将来、町を背負って立つ人や他の地域に移って活躍する人など様々な状況が予想されます。そのような状況に対応できるように教育を通じて子どもたちに自信を付けさせなければならぬと考えています。小規模校なので競争心が育たない面もあるので、その部分を補っていきけるようにしたいと思っています。

郷土のよさを理解する

金山町という郷土のよさを理解するということも教育には欠かせません。町には祖先や家族を大事にする

という気風があります。過疎でありながら皆が頑張っているという前向きな姿勢もあります。また、変化に富んだ四季の豊かさや、山・川・湖といった地勢は都会志向の人が忘れてしまっている金山町の財産であると思います。それらを糧に郷土の豊かさを再確認できるような教育を志したいと思っています。

個性を伸ばす教育

金山町はスポーツが盛んですが、それ以外で小中学生に刺激を与えるものは何かと考えています。

現在でも、金山・横田両小学校合同宿泊学習や三島町や昭和村も参加する三町村陸上記録会など、お互いを磨きあえる機会を設けています。また、合唱や英語弁論など文化的な分野での活躍も個性を伸ばすには必要なことだと思います。将来自分が何をやりたいかという目標を持たせることも大切です。

金山町振興計画と教育目標

町では、町づくりの根幹は教育にあるという観点から、教育基本法の目的を踏まえつつ、地方自治の本旨にのっとり、町づくりと一体化した教育を推進しています。

町づくりの考え方

過疎に対応した生活環境づくり

郷土を担う心豊かな人づくり

地域特性を活かした仕事づくり

広域的な連携による地域づくり

住民と町職員の意識改革

基本目標

『支えあいの町 かねやま』

施策の指針

過疎に対応した安心・安全・快適な生活環境づくり

学校教育・生涯学習による人づくりの推進

地域資源とITを活用した魅力ある仕事づくり

広域的な連携により支えあう地域づくり

「支えあい」精神の醸成と相互扶助の推進

金山町教育目標・・・郷土を担う心豊かな人間の育成

基本目標

- (1) 次代を担う個性豊かでたくましい青少年の育成（学校教育）
- (2) 生きがいに満ちた生涯学習の展開（社会教育）
- (3) 町民の活力を育む体育・スポーツの振興（社会体育）
- (4) 地域性とうるおいのある文化の振興（芸術文化）

金山町義務教育の状況

資料：学校基本調査（基準日：5月1日）

		単位	昭和46年	昭和56年	平成3年	平成13年	平成23年
小学校	小学校総数	校	10	3	3	2	2
	教員数	人	59	31	25	18	13
	児童数	人	687	336	214	110	59
	1学校当たり児童数	人	69	112	71	55	29
	うち分校数	校	2	—	—	—	—
中学校	中学校総数	校	3	2	2	2	1
	教員数	人	30	20	16	17	9
	児童数	人	439	205	102	86	48
	1学校当たり児童数	人	146	103	51	43	48
	うち分校数	校	—	—	—	—	—

インターハイ出場報告 川口高校ボート部女子ダブルスカル



インターハイ出場報告をする川高ボート部

6月4日・5日に行われた福島県高等学校体育大会ボート競技女子ダブルスカルで見事優勝を果たした川口高等学校の星和香さん（川口・写真中央右）と横山ありささん（川口・写真中央）が6月8日、優勝報告のために来庁しました。昨年秋の地区大会では本来の力が出せず、残念な結果になったがその後の日々の猛練習で今回の栄冠を勝ち得ることが出来たそうです。

星さんは「私自身3年生ということで、悔いの残らないインターハイにしたい」と抱負を述べ、横山さんは「インターハイは2回目の出場となるので、昨年よりも上位をめざしたい」と話しました。二人は8月に岩手県で開催されるインターハイに出場します。

地域の人たちとの交流 よこたふれあい教室

6月22日、横田小学校では「よこたふれあい教室」が開かれました。この授業は茶道、室内ペタンク、くるみゆべし作りという3つのグループに分かれて1年生から6年生までの児童全員が参加するものです。

くるみゆべし作りでは、参加した地元の方や白寿・こまどり学級の方々からゆべしの作りかたを教わりながら一生懸命に材料をこねる児童の姿が印象に残りました。体育館で行われた室内ペタンクでは投げられたボールの行方に児童のみならず参加した大人も一喜一憂し、楽しいひとときを過ごしました。



大いに盛り上がった室内ペタンク



本番さながらの訓練に励む婦人消防クラブ員

東日本大震災を教訓に 金山町防災訓練

6月26日、本名地区において平成23年度金山町防災訓練が実施され、町消防団、婦人消防クラブ、赤十字奉仕団、交通安全協会金山分会、会津坂下警察署金山駐在所、会津坂下消防署金山出張所などの機関や団体、本名地区の住民多数が参加しました。この日はあいにくの雨模様でしたが、参加者は本番さながらの訓練に臨みました。

未曾有の大災害である東日本大震災の後の訓練だったため、参加者にも危機意識がうまれ緊張感のある訓練となりました。住民の避難や誘導、人形をつかった救出訓練や炊き出しの訓練を通して有事の際にどのような行動をすべきかを学びました。



ねじれたブナに興味津々の参加者たち

新緑のブナの森を歩こう 『癒しの森』探勝会

6月12日、山入地区と只見町の明和地区の境界にある松坂峠では癒しの森探勝会が行われました。松坂峠から西方に広がる約3平方キロメートルの国有林を「癒しの森」と称し、会津山地緑の回廊に設定されています。

この日は天気もよく絶好のトレッキング日和。ブナの森は参加者を温かく迎えているようでした。案内人の一人である齋藤勇一さん（越川）は「ブナの森は天然酵母の宝庫、ブナ、ナラの木が腐敗した場所には、数億もの良質な酵母が存在します」と話し、参加者の中には熱心にメモをとりながら聞き入る人もいました。

探勝会を終えて、参加者の一人は「まばゆいばかりのブナの緑にとっても癒されました」と感想を話しました。

初夏の日差しをあびて 金山小学校ファミリーサイクリング

6月19日、金山小学校ファミリーサイクリングが開催されました。この行事は金山小学校のPTAが主催となり、毎年恒例の行事となっています。児童、保護者、先生方総勢50人が沼沢湖畔に集合しました。サイクリングコースは沼沢湖周辺から福沢集落を通り、大栗山集落を折り返し沼沢湖に戻るというコースです。

途中、上り坂や下り坂もたくさんあり、変化に富んだコースを満喫することができました。当日は晴天に恵まれ、初夏の日差しを感じることができ沼沢湖や山々の緑などの景色を親子ともども楽しむことができました。



家族で楽しんだサイクリング



気の力を熱く語る栗田先生

心と体のビックリ体験 栗田和悦^{かずよし}先生の講演

6月23日、金山中学校体育館で東京都町田市の玉川学園教諭栗田和悦先生（小栗山出身）による「気」の授業が行われました。これは先生が当町出身ということで、東日本大震災や原発事故の被害に遭遇した福島県を復興させるため立ち上げた「福島に元気を！3・11プロジェクト」の一環として行うものです。

栗田先生の気功を使った授業で、生徒たちはその独特な世界に最初は戸惑いながらも、今まで経験したことのない気功に関心を持ったようでした。

お知らせ

今月の納税

● 国 定 資 産 税
● 民 健 康 保 險 税
● 介 護 保 險 料
● 水 道 使 用 料
● 保 育 料

7月分 7月分 2期 2期 2期

納期限は
8月1日です

納め忘れに
ご注意ください

表彰

感謝状 金山町赤十字奉仕団に



感謝状を手にする赤十字奉仕団の皆さん

金山町赤十字奉仕団に会津坂下ロータリークラブから感謝状が贈られました。これは、ペットボトルのキャップを集めてリサイクルし世界の貧しい国々の子どもたち小児麻痺の予防接種薬であるポリオワクチンを提供する活動が評価されたことによるものです。

平成22年度に当町で集ま

案内

防災無線機を交換します

昨年度設置しました防災無線機に不具合が発見され、メーカーより無線機交換の申し出がありました。

そのため、現在お宅に設置されている防災無線機を回収し、新しく製造した物と交換します。7月21日より交換業者である日本通運(株)から事前に電話連絡がありますので、都合のよい交換日をお伝え下さい。その後、ご指定の日に業者が来宅し防災無線機を交換します。なお、具体的な内容

地上デジタル放送相談室を開設しました

町では役場2階にて地上デジタル放送についてご相談に応じています。

また、地上デジタル放送相談室では地上アナログ放送が終了する前に、町内全家庭へ訪問しデジタル移行アンケートを実施します。

◎問い合わせ：政策財政係
☎ 54-5222



新設された地デジ相談室

県民健康管理調査について

福島県では大震災に伴う原子力災害について、放射線量の影響による不安の解消や将来にわたる県民の皆様の健康管理を目的とした「県民健康管理調査」を実施することとしました。詳細が決まり次第、改めてお知らせします。

◎問い合わせ…保健医療係
☎ 54-5135

市町村対抗軟式野球大会参加者募集

今年で5回目を迎える市町村対抗軟式野球大会の参加者を募集します。大会には町内在住者と町内中学校出身者(ふるさと選手)が参加できます。練習のみの参加も可能ですので、一緒に白球を追いかけてください。

◎問い合わせ…体育協会事務局
☎ 54-5361

これから予定

★7月★

18日(月)

少年少女球技大会

午前8時30分

町民体育館

20日(水)

運転免許更新

午前9時

24日(日)

町民登山

浅草岳

28日(木)

膝腰痛予防教室

午前9時30分

ゆうゆう館

★8月★

1日(月)

膝腰痛予防教室

午後1時30分

横田出張所

4日(木)

リハビリ教室

午前9時

11日(木)

行政相談

午前10時

15日(月)

金山町成人式

午前10時

夏の成人式

平成23年度金山町成人式
を次のとおり行います。

日時

8月15日(月)
午前10時から

会場

開発センター

対象者

平成3年4月2日から
平成4年4月1日までに
生まれた方

※町内の中学校卒業者には
通知しますが、その他の方
で町内に住民登録がある方
は次のところへお申し込み
ください。

申込期限

7月29日(金)

◎問い合わせ：中央公民館

☎54-5361

震災復興緊急保証制度について

東日本大震災により、直
接的または間接的に著しい
被害を受け、経営の安定に
支障を生じている中小企業
者について、信用保証協会
が保証を行います。

対象

福島県の中小企業者

条件

・震災の発生後の最近3ヶ

月間の売上高等が前年同
期に比して10%以上減少
していること。

・震災の発生後の最近1ヶ
月間の売上高等が前年同
期に比して10%以上減少
しており、かつ、その後
2ヶ月間を含む3ヶ月間
の売上高等が前年同期に
比して10%以上減少する
ことが見込まれること。
なお、これを受けるため
には申請書を提出する必要
があります。

◎問い合わせ：商工観光係

☎54-5327

募 集

町職員募集

平成24年度町職員採用候
補者を募集します。

採用職種・採用予定人員

・一般事務(高校卒程度)

1名程度

受験資格

・一般事務

昭和46年4月2日から
平成6年4月1日までに

生まれた方

※学歴は問いません

第1次試験期日

9月18日(日)

受付期間

8月12日(金)まで

◎問い合わせ：総務係

☎54-5215

町民登山参加者募集

中央公民館では町民登山
の参加者を募集します。

今年も浅草岳ですが、登
りは大白川口で下山を只見
町入叶津口の浅草岳縦走の
コースです。この下山コー
スの魅力は、広大な雪渓と
ブナの杜です。

詳しい日程や要項は、後

日参加者にお知らせします。

日時

7月24日(日)

午前8時15分 登山開始

参加料金

大人：1,000円

小中学生：500円

(当日集金します)

申込期限

7月19日(火)

◎問い合わせ：中央公民館

☎54-5361

人 事

集落支援員

集落支援員に若林豊昇さ
ん(福沢)、栗城元一さん(上
横田)と緑のふるさと協力

隊の河原崎知尋さん、高山
陽太郎さんが委嘱され、6
月27日に町長から委嘱状が
交付されました。

集落支援員は、特に高齢

化が進む集落や小規模集落

を定期的に巡回し、住民生

活や農地などの状況把握や

集落の維持活性化の話し合

いを図ります。

任期は平成24年3月まで

です。



集落支援員に委嘱された皆さん

ご寄付に感謝

震災に対する寄付金

次の方から金山町東日本
大震災対策本部に対して寄
付がありました。

●横田長幼会から20万円

●東邦銀行睦会から50万円
ご協力ありがとうございます。

ふるさと応援寄付金

次の方から金山町ふるさと
応援寄付金をいただいで
います。

●匿名希望の方から2万円

●東京都東久留米市の藤森

忠勝さんから7万円

ご寄付は金山町の自然環
境の保全や地域活性化など
の事業に活用させていただきます。

絵本の寄贈

福島民報社より絵本「き
んばあちゃんの花見山」
(あきば たまみ著)が寄
贈されました。

絵本は横田・川口保育所、

横田・金山小学校、及び中

央公民館図書室で読むこと

が出来ます。



きんばあちゃんの花見山(表紙)

「妖精の里商品券」を販売します

金山町商工会では町内の加盟店で利用できる「妖精の里商品券」を平成23年8月1日から販売します。

商品券は、1冊5千円（5百円券12枚綴り）で町内の加盟店と商工会で販売します。1人10万円まで購入可能です。

利用期間：平成23年8月1日から
平成24年1月31日まで

◎問い合わせ…金山町商工会 ☎54-2311
※地域振興券のご利用期間は7月31日までです。

～ ゴミについてのお願い ～

不法投棄は犯罪です。絶対にやらないください。

たとえ自分の土地であっても、ゴミを捨ててはいけません。

野焼き（野外焼却）はダイオキシン対策のため、法律で禁止されています。

◎問い合わせ…保健医療係 ☎54-5135

クマにご注意ください

クマなどの有害鳥獣が活発に活動を始めています。

町では有害鳥獣による農作物の被害を防止するために防護柵（電気柵）を設置する世帯に対して助成します。

○助成額：設置費用の2分の1
助成限度額：15,000円

※助成を受けられるのは1世帯につき1度限りです。

有害鳥獣を目撃した、農作物に被害を受けた等ありましたら農林振興係までご連絡ください。

◎問い合わせ…農林振興係 ☎54-5321

消防職員・行政職募集

会津若松地方広域市町村圏整備組合では、職員を募集します。

○採用職種及び人員

- ・消防職員 12名程度
- ・消防職員（救急救命士）若干名
- ・行政職 若干名

○受験資格

- ・高等学校卒業程度の学力を有し、昭和59年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた方
- ・身体強健な方（消防職員）
- ※救急救命士については、昭和59年4月2日以降にうまれた方で、救急救命士の免許の交付をうけた方

○受付期間

7月13日（水）～8月12日（金）

◎問い合わせ

消防本部総務グループ（消防職員）

☎0242-59-1400

総務課総務係（行政職）

☎0242-24-6311

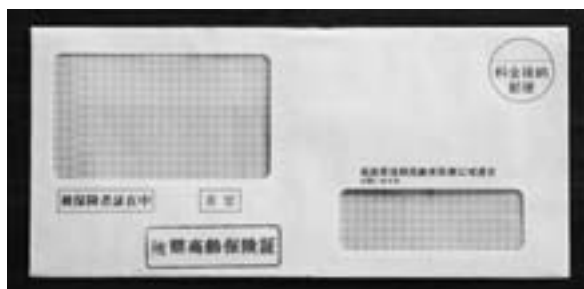
後期高齢者医療制度のお知らせ

8月1日から被保険者証が新しくなります。

現在使っている被保険者証は平成23年7月31日で有効期限が切れるため、使用できなくなります。

8月1日からは新しい被保険者証（オレンジ色）をご使用ください。新しい被保険者証は区長を通して配布します。

◎問い合わせ…保健医療係 ☎54-5135



新しい保険証が送られてくる封筒（白色）

奥会津五町村再生可能エネルギー講演会

奥会津地方の豊かな自然を活用した小水力、バイオマス、地熱発電などの再生可能エネルギーへの理解を広める機会として奥会津五町村の住民を対象とした講演会を開催します。

○日時

7月29日（金）

午後2時から

○会場

御神楽館

○入場料

無料

○演題

「持続可能・地方分散型社会の構築に向けて」

○講師

京都大学名誉教授

芦田 譲（あしだ ゆずる）先生

○主催

奥会津五町村活性化協議会

参加ご希望の方は、お名前、ご住所、連絡先を電話、FAXでご連絡ください。

◎問い合わせ・申込先：

奥会津振興センター

☎48-5525

FAX 48-5575

画家人生53年

渡部 一 さん（水沼）



美人画を描く渡部さん

今月は2年前に東京から金山町に創作活動の拠点を移した画家の渡部一さん（雅号・渡部岱龍）にお話を伺いました。

小学校教員から画家へ転身

「私は水沼の農家に生まれたのですが、子どもの頃から絵を描くことが好きでした。最初の仕事は喜多方市で小学校の教員をしていましたが、絵の勉強は続けていました。ある時絵のコンクールで1位になったことを機に画家になることを決心

し、昭和32年に上京したのです」
そこでご自身が心酔していた美人画の大家・志村立美に弟子入りし、日本画を志すようになりました。

見習い時代の苦勞

「見習い時代は雑誌や新聞の挿絵を描いたり着物の模様をデザインして収入を得ていました」そして、弟子入りしてから19年後画家として自立し昭和51年東武百貨店にて第1回個展を開くに至りました。

精力的な創作活動

「日本画の場合、油絵と違って上塗りが出来ないため描き損じがないうように慎重に作業します。今ま

でに自分の気に入る色を出すために膨大な試行錯誤を繰り返してきました。下絵を納得できるまで何度も描き直すこともあり、その作業に半年かかることもあります」

芸術家としての意識

近年、フランスをはじめとして海外での評価が高まる渡部さんはこう話します。
「名前が世に出るためには人と同じ事をやっても駄目で、私は師匠の技術を学ぶだけでなく独自の創作方法を確立してきました。作品はひらめきでできるのではなく、何回も失敗を重ねるといふ地道な作業の末にできるものなのです」
渡部さんの絵画はかねやまホームに寄贈されています。

農業機械を貸し出します

農業の経営安定と農業基盤の確立を図るため、町が所有する農業機械を貸し出します。

○利用できる方

金山町内に住所を有する農業従事者

○利用料金

機 種	作業種類	料金（消費税込み）
管理機	マルチ作業	5,000円／10a
	耕運作業	2,000円／10a
防除機	防除作業	2,000円／10a
ミニユンボ		1,000円／1時間

◎問い合わせ

(株)奥会津金山大自然

☎0241-58-5661

夏の交通事故防止 県民総ぐるみ運動

この運動は、夏季特有の暑さや行楽による疲労、開放感による無謀運転等の増加に伴う交通事故が多発することから、県民一人ひとりの交通安全意識を高め、交通ルールの遵守・マナーの実践を習慣づけることにより、県民総ぐるみで交通事故防止を図ることを目的としています。

●期 間

7月16日(土)から7月25日(月)まで

●運転のスローガン

行けるかな 渡れそうでも 待つ勇氣

●運動の基本

子どもと高齢者の交通事故防止

主 唱 福島県・福島県交通対策協議会

☆あたらしい本が入りました☆

一般向け 知事抹殺

佐藤 栄佐久 著 (平凡社)

ダム建設をめくって突然湧いた逮捕劇。県内で絶大な人気を誇った改革派知事はなぜ失脚させられたのか。汚職知事の名を着せられた当事者が、事件の内実を冷静な筆致で綴る。

一般向け 福島原発の真実

佐藤 栄佐久 著 (平凡社)

日々、深刻の度を深める福島原発事故。洪水のように溢れかえる情報の中では一体何を信じたらよいのか。原子炉運転停止、プルサーマル凍結、核燃料税をめぐる攻防……。国と電力会社が操る「全体主義政策」の病根を知り尽くした前知事が、その全てを告発する。

児童向け わたししんじてるの

宮西達也 著 (ポプラ社)

お父さんとお母さんを助けて……。じっと見つめるトリケラトプスの子にティラノサウルスは……。信じる気持ちが起こした奇跡の物語。

◆図書館の利用状況 (6月分)

月刊貸出冊数 97冊
(うち児童書 50冊)

県立図書館の本を紹介します。

- 子どもと一緒に料理しましょ
上田淳子 著 (文化出版局)
- おやつなあに
水野清子、竹内恵子、高木綾子
著 (赤ちゃんとママ社)
- 堀畑堀のさくら
山本一力 著 (角川書店)

～お一人様3冊まで、貸出期間は2週間です。土曜日も利用できます～

◎問い合わせ 中央公民館
☎ 54-5360

あの人この人

6月届出 (敬称略)

こんにちは赤ちゃん

今月は該当がありませんでした

お二人で幸せに

今月は該当がありませんでした

霊よ安らかに

滝 沢 ミ ツ	(87歳)	上横田
大 石 みや子	(56歳)	大 志
中 丸 静 枝	(79歳)	山入一
栗 城 宗 利	(81歳)	川 口
大 竹 昭 子	(83歳)	山入二
大 石 盛 男	(91歳)	大 志
栗 城 ツ ギ	(89歳)	板 下
中 井 幸	(75歳)	玉 梨

※このコーナーに掲載を希望されない方は、届け出時に申し出て下さい。

金山町の人口 (7月1日現在)

世 帯 数	1,134世帯 (± 0)
人 口	2,535人 (－ 7)
男	1,193人 (+ 1)
女	1,342人 (－ 8)

※ () 内は先月比 住民基本台帳から

宮下病院だより

家庭血圧測定の すすめ

福島県立宮下病院

副院長 黒沢 正喜



今回は、家庭血圧測定についてお話しします。

血圧は年齢とともに高くなり、70代では6割以上の方が高血圧症となります。最近では、高血圧に関する知識とともに家庭血圧計が普及し、多くの方がご自宅で血圧を測定できるようになりました。

1日のうちで血圧が最も高くなるのは早朝です。朝起きたらすぐに測るのが良いでしょう。具体的には、排尿した後座り、気持ちを落ち着けてから深呼吸を2、3回したところで測ってください。もし、余裕があれば、寝る直前にも測定してください。そして、これらの血圧の数値を記録して、診察の際に医師に見せてください。目標は、上 (収縮期) は135 mmHg、下 (拡張期) は85 mmHg以下とされていますが、年齢や合併症の有無により目標値が異なりますので、医師におたずねください。

高血圧が長期間続くと、脳や心臓の血管が傷んで、脳梗塞や心筋梗塞が起こり易くなります。しっかりと血圧を下げて、脳梗塞や心筋梗塞を予防しましょう。

緑のふるさと協力隊が見つけた“支えあいの心” Vol.1

文・高山陽太郎

金山町に緑のふるさと協力隊として来て、早くも2カ月が経とうとしている。

そんな時にふと考えてしまうのが、自分がここに来た意味。農作業の手伝いで金山町中をあちこち回る日々。自分が何をしたくて、ここ金山町に来たのか分からなくなっていた。

一人で悩んでいても仕方ない。そう思って近所の方に思い切って相談してみた。すると、たった一言。

「やりたい事をやればいい」

そのたった一言で胸につかえていた物が無くなった。そんな時に「沼沢元気プロジェクト」の話を聞いた。沼沢の休耕地になっている土地を耕し、花を植えていくというものだ。

沼沢の集会所から田畑、沼沢湖、惣山と望める。この景色に、来たばかりの私は衝撃を受けた。同時に、休耕地となっているこの田畑が、元の姿を取り戻したらさらに素晴らしい景色になるだろうと感じた。その事を常々考えていた私にとっては正にふさわしい事業である。

自分が本来考えていたやりたい事とは少しずれているかもしれない。だが、それでいいと思う。「沼沢元気プロジェクト」を主軸として、沼沢地域、ひいては金山町に還元できるものを残せたらと思う。



アヤメが咲く沼沢集落

文・河原崎知尋

「さすけねえ」

金山町に来てよく耳にする言葉に「さすけねえ」意味は大丈夫だ、気にするなという意味で日常会話に何度も登場する。元々は差し障りないからなまったそうだ。「明日は（天気は）さすけねえか」「ああ、さすけねえ」。調子はどうだ、と聞くときも「さすけねえか」。言われたときに、何が大丈夫と聞いているのか分からず困ったこともあった。

あいさつ言葉にもなる「さすけねえ」。使うときによって様々な意味が変わる。地方特有の温かさがあると感じた。

「金山町を農業で元気にする」

そう掲げているのは上横田農用地利用改善組合の皆さん。上横田で耕作放棄地と化した土地を主に水田として利用、ワラビ園やアスパラ畑にも利用している。面積が増えればそれだけ増産につながり町の農業振興になる。また、雑草が覆い茂っている場所が改善され景観が良くなり、町の美しい里山の風景が保たれる。

どんどん新しいことにチャレンジし地域をもっと大きくしていこう、もっと良くしていこう、という気持ちはすごい力を持っている。私も皆さんと共に金山を元気にしていこうとあらためて思った。

上横田農用地利用改善組合の皆さん



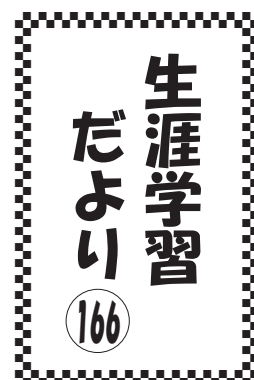
緊張した様子でイスに腰かける児童。ジェフさん（西谷在住）は雰囲気をやわらげるように声をかけながら児童の顔を画用紙に描いていきます。描き上った顔のまわりに今度は自分でイメージしたクリーンエネルギーを表現していきます。太陽光・風力など、クリーンエネルギーは明るい色彩で描かれ、「希望」にあふれていました。

これはジェフさんを講師に「よこたふれあい教室」の活動として取組んだものです。参加した児童11人は自分そっくりの絵に大喜びで、失敗しては大変と慎重に筆を滑らせていました。完成した絵は、7月下旬に新潟県の苗場スキー場で開催されるフジロックフェスティバルの会場に展示される予定です。

クリーンエネルギーを絵で表現



生涯学習のマスコット マナビィくん



どんな絵ができるのかな？

ご覧ください、点検評価
教育委員会では、教育行政を効果的に進め、市民のみなさんにその内容をお知らせするため、平成22年度の教育委員会点検・評価を行い、報告書をまとめました。報告書は、町内の各公民館でご覧になれます。

Fight!
Fukushima! がんばろう
ふくしま!



沼沢湖水まつり

会場／福島県金山町沼沢湖畔

大蛇退治



13時00分～

10時00分～カナディアンカーヌー試乗会
11時00分～ステージショー・自然体験会

8月7日(日) 午前10時～午後3時まで

大蛇出現

20時45分～灯籠流し



12時00分～オープニング・妖精の絵コンテスト表彰式
12時45分～水上ゲーム大会
13時30分～いかだレース
14時00分～カナディアンカーヌー試乗会
15時00分～自然体験会
16時30分～ステージショー
20時00分～花火大会

8月6日(土) 正午～夜9時まで

平成23年

主催／金山町【沼沢湖水まつり実行委員会】 金山町観光物産協会・金山町中央公民館 後援／奥会津五町村活性化協議会
|お問い合わせ| 金山町商工会／TEL0241-54-2311 金山町産業課／TEL0241-54-5327
URL／<http://www.ht-net21.ne.jp/> Kanesho/ E-mail／kanesho@ht-net21.ne.jp

電源立地地域対策交付金事業

出展希望者・ステージ参加者募集中です。

◎問い合わせ…金山町役場 商工観光係 ☎54-5327

発行：金山町役場(総務課) ☎0241-54-5111 〒968-0011 福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

ホームページアドレス <http://www.town.kaneyama.fukushima.jp/>
電子メールアドレス office@town.kaneyama.fukushima.jp